

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第12回運営委員会議事要旨

- 1 日時：令和4年3月7日（月） 14時30分～15時15分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、佐波、柳生、大野（真城委員代理）、岡崎、長瀬、舟橋（星川委員代理）、安部、福島、玄地、岡部（佐々木委員代理）、Li、岡島、石濱
陪席者：西田（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、田代（〃）、小山（NTT）、山本（電力中央研究所）、岩崎（産業技術総合研究所）、伊藤（筑波大学）、斉藤（〃）、高野（〃）、秋葉（〃）、鈴木（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

議事に先立ち、林会長より開会の挨拶があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 役員の任期満了に伴う選出について

林会長及び遠藤副会長から、資料1に基づき、現在の役員の任期満了に伴い次期役員の選出を行う旨の説明があり、次のとおり承認された。

- 会長（コンソーシアム規約第7条第2項）：林 春男（防災科学技術研究所）
 - 副会長（コンソーシアム規約第7条第3項）：甘利 康文（セコム）、遠藤 靖典（筑波大学）
- なお、林会長から、令和5年度以降は継続できない可能性がある旨の補足説明があった。

(2) 総会・運営委員会委員の交代について

遠藤副会長から、資料2-1及び資料2-2に基づき、日本自動車研究所の委員交代について説明があり、原案のとおり承認された。続いて、新委員の安部委員より挨拶があった。

(3) 令和4年度コンソーシアム活動企画及び年間活動計画（案）について

遠藤副会長から、資料3に基づき、令和4年度のコンソーシアム活動企画案について説明があり、承認された。また、第19回幹事会で検討された次の会議日程が年間活動計画に追加された。

- 第20回幹事会：令和4年4月11日（月）10:00～11:00、オンライン開催
- 第5回総会：令和4年5月10日（火）13:30～15:00 または令和4年5月9日（月）13:30～15:00、オンラインまたは東京開催（今後メール等により開催日時・場所調整）
- 第21回幹事会：令和4年7月19日（火）10:00～11:00、オンライン開催

(4) レジリエンス研究教育推進コンソーシアム規約別表の改正について

遠藤副会長から、資料4に基づき、NTT宇宙環境エネルギー研究所の入会に伴うコンソーシアム規約別表の改正について説明があり、原案のとおり承認された。

(5) その他

特になし。

【報告事項】

(1) Joint Seminar 減災との第2回共同シンポジウム開催報告

遠藤副会長から、資料5に基づき、令和4年2月14日に開催された共同シンポジウムについて、参加者数やアンケート結果等の報告があった。また、当日、時間の都合上取り上げられなかった参加者からの質問については、後日コンソーシアムのWebページ等にパネラーからの回答が掲載される予定である旨の情報共有があった。

(2) Network Security Forum 2022 (NSF2022) への後援について

遠藤副会長から、資料6-1及び資料6-2に基づき、NPO法人日本ネットワークセキュリティ協会主催のシンポジウム「Network Security Forum 2022」にコンソーシアムとして後援する旨の報告があった。続いて、紹介者である甘利副会長から、イベント内容の紹介があった。

(3) 第18回幹事会 (R3.10.13) について

遠藤副会長から、資料7に基づき、令和3年10月13日に開催された第18回幹事会の議事の報告があった。

(4) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 令和4年度協働大学院教員及び非常勤講師について

岡島委員から、資料8-1に基づき、令和4年度の協働大学院教員について、産業技術総合研究所の頭士 泰之准教授(協働大学院)(新規)を加えた13名による教育体制となる旨の報告があった。続いて、資料8-2に基づき、令和4年度のコンソーシアム参画機関からの非常勤講師について、現時点で日本自動車研究所のアルザメリ・フサム氏(新規)と防災科学技術研究所の飯塚 聡氏(新規)を加えた12名を任用済みとの報告があった。

(2) 令和4年度開設授業について

岡島委員から、資料9に基づき、令和4年度の開設授業科目について報告があった。防災科学技術研究所が担当する「災害リスク・レジリエンス論」については、一部担当教員交代のため、次のとおり教員名を修正予定との説明があった。

[修正前] 三隅 良平 → [修正後] 飯塚 聡

(3) 紀要「リスク・レジリエンス工学研究」別冊としてのコンソーシアム活動報告刊行の延期について
岡島委員から、資料 10 に基づき、学位プログラム紀要の別冊としてコンソーシアム活動報告を刊行することについて、令和 3 年度の刊行は延期し、令和 4 年度以降に現行の学位プログラム紀要を発展させる形でコンソーシアムとしての紀要の整備を進める旨の説明があった。また、今後、原稿執筆等を依頼する際には協力を求める旨の要請があった。

(4) 学位プログラムオープンキャンパスの開催について

岡島委員から、資料 11 に基づき、令和 4 年 4 月 24 日に学位プログラムオープンキャンパスがオンライン開催される旨の報告があった。また、各参画機関で学位取得に興味のある社員・職員に向けて、大学から郵送されるポスター・リーフレットを案内して欲しい旨の要請があった。

(5) その他

特になし。

以上